

# 石垣島への陸上自衛隊配備計画のあらまし

**配備される部隊** 人員規模 500 名～600 名

## •地対艦誘導弾(ミサイル)部隊 (約 100 名)

尖閣諸島など島々に対する侵攻をできるだけ洋上で阻止し、  
周辺海域で相手の軍艦の動きを封じるための部隊

装備：**12 式地対艦ミサイル 軍艦を撃つもの** 到達距離約 200 km

発射機車両 4 両（宮古島の場合） 4 車両分のミサイルは全部で 48 基

## •中距離地対空誘導弾(ミサイル)部隊

地対艦誘導弾部隊と連携し、部隊及び空港、港湾など重要地域の防空を担う部隊

装備：**03 式中距離地対空ミサイル 軍用飛行機を撃つもの**

巡航ミサイルの一部は撃ち落とせるが、弾道ミサイルは落とせない

発射機車両 3 両（宮古島の場合） 3 車両分のミサイルは全部で 36 基

## •警備部隊

島しょ防衛や大規模災害などの各種事態が起きた際に、迅速に初動対応を行う部隊



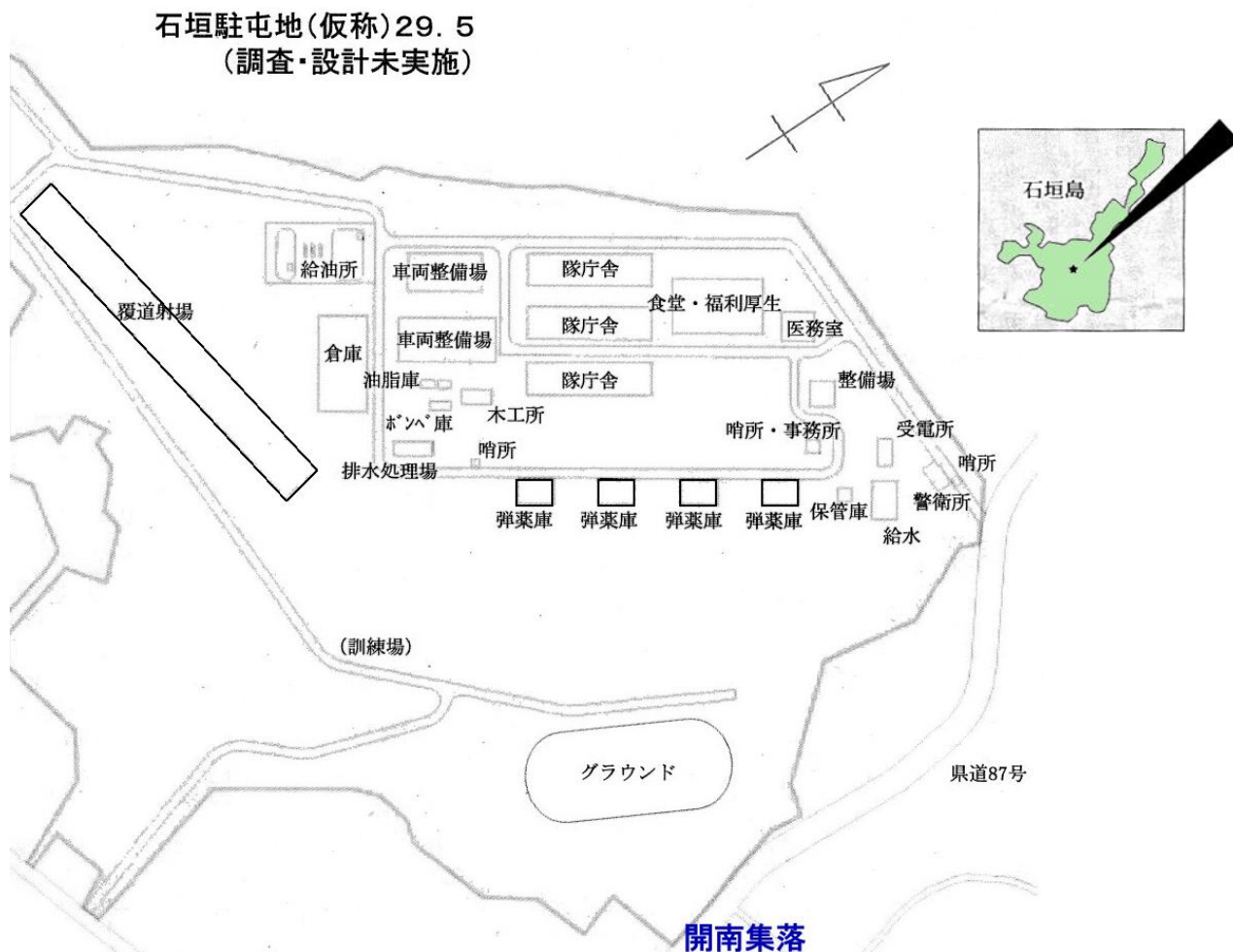
地対艦ミサイル 4 車両（左）と中距離地対空ミサイル 3 車両（右）を石垣の景色に重ねた合成写真  
発射機車両 1 両毎に、発射筒に入れたミサイル 6 基と、予備ミサイル 6 基を積む弾薬運搬車がつく  
これらの車両は、有事には他の多くの軍用車両とともに島内各地に展開し、発射、移動を繰り返す



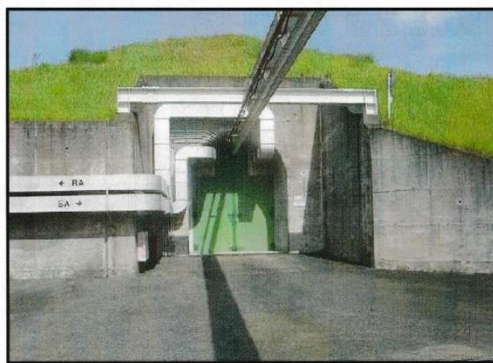
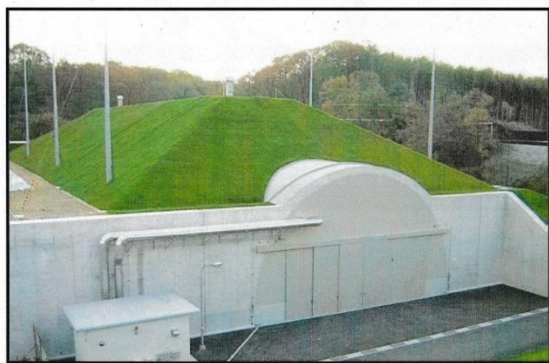
現在の 12 式地対艦ミサイルの到達距離（約 200 km）と、2023 年度配備予定の改良型の到達距離（約 300 km）を、石垣島を中心とする円で表したもの（距離の数字は産経新聞等の報道による）

**施設** 敷地面積 46 ヘクタール うち半分は市有地

## 防衛省の施設配置案



## 弾薬庫の例(防衛省資料)



大型弾薬庫を4棟(計2100平米)造る計画(大量の予備ミサイルを備蓄か?)  
開南集落までの距離は、約400メートル

## 覆道射場

小銃などの実弾射撃訓練場 全体を鉄筋コンクリートで囲ってあり長さは約300m

## グラウンドでヘリの離発着

防衛省によれば、状況により、グラウンドでヘリが離発着する